

# いじめをなくすために

呉市立川尻中学校 2年 増中 未悠



今、いじめが原因で、学校に行けなくなったり、自殺してしまったりする人が多いです。

いじめは、物理的に特定の人を傷つけたり、悪口などで精神的に傷つけるだけでなく、こっそり物を隠したり、中傷するような手紙を出したりするなどの目には見えないものもあります。一言で「いじめ」と言っても、ターゲットを傷つける方法やつける傷の形は様々です。

私は、相手の気持ちを考え、お互いが思いやりを持つことで、いじめがなくなると 생각합니다。しかし、相手を思いやるということは簡単ではないし、具体的に何をすれば良いかが分かりづらいので、「お互いを思いやる」だけでなく、「こうすることでお互いを思いやる」のほうの方が分かりやすく、いじめ撲滅につながりやすいと思います。私は、いじめをなくすための相手を思いやる行動を、三つ意識しています。

まず、一番はじめにやるべきなのは挨拶です。挨拶は、人間関係の基本であり、相手が誰であっても本来するべきです。笑顔ではっきりと挨拶するのが理想的ですが、苦手なのであれば会釈や小さな声で挨拶するのも良いと思います。例えば、廊下で人とすれ違った際、素通りされるよりも、挨拶があったり、会釈をされるほうが気持ちが良いです。人が初対面の人と会話する時、「はじめまして」と挨拶するように、人と人のつながりは挨拶からはじまるものだと思います。

二番目にやるべきなのは、笑顔で心がけることです。笑顔で話しかけるとそうじゃないのでは、様子が全く違うと思います。笑顔だと親近感がわいて、より話しやすくなり、距離も縮まると思います。笑顔じゃなかったり、ぎこちなかったりすると、相手を不安にさせたり、距離ができてしまったりすると思います。相手が自分に合ってなかったり、苦手な人だったりすると笑顔を作るのが難しいと思います。でも、笑顔をつくってみることで本当に楽しくなって笑顔になれるというのを聞いたことがあります。だから、はじめは作り笑顔でも、少しずつ楽しく、笑顔になれば良いと思います。

三つ目は、自分から話しかけていくことです。「悲しんでいる人や、落ち込んでいる人がいたら、自分から話しかけよう」ということをよく言われますが、簡単に見えて実は難しいものだと私は思います。けれど難しい分相手はとても嬉しい気持ちになると思います。移動教室や休憩時間、グループ決めなどで一人にいる人に一言でも話すのと話さないのでは違うと思います。少し恥ずかし

いかもしれないけど、挨拶ができて笑顔で話せるくらいになったのであれば、もう話しかけることはできるはずです。「相手は何を言ったら傷つくか」、「相手が好きなものや得意なものは何か」を考え、話題を選んで話しかけると、相手も話しやすくなり、より距離が縮まると思います。

私は、挨拶、笑顔を心がける、自分から話しかけるの三つの段階的に実践すると少しずつ相手との距離を縮めることができると思います。

いじめ撲滅のためには、周りの人たちの行動が大切だと、私は思っています。周りの人たちが「相手を思いやる」行動をすることで、雰囲気は少しずつ広がっていき、いじめ撲滅につながると思います。

しかし、いじめている人に「やめなさい」と言い、やめさせるのは良くないと思います。世界に一つだけの個性を持った人たちが集まるのだから、違いがあって当たり前だし、好き嫌いがあるのも個性だと思うので、表面上だけで反省させるのではなく、内側からしっかり反省することが大切だと思います。つまり、周りの人たちが「いじめは良くない」という空気をつくり、いじめている人が「いじめは良くない」と気づく、あるいは、いじめ続けてやめるタイミングを失っていたのであれば、周りの人の行動でいじめをやめやすくなると思います。

世界には個性を持ったたくさんの方がいるのだから、いじめが起こるのは仕方ないことだと思うし、いじめがゼロになるのはとても難しいと思います。けれど少しずつ、いじめがなくなるように皆が意識して、いじめがなくなれば良いと思っています。